

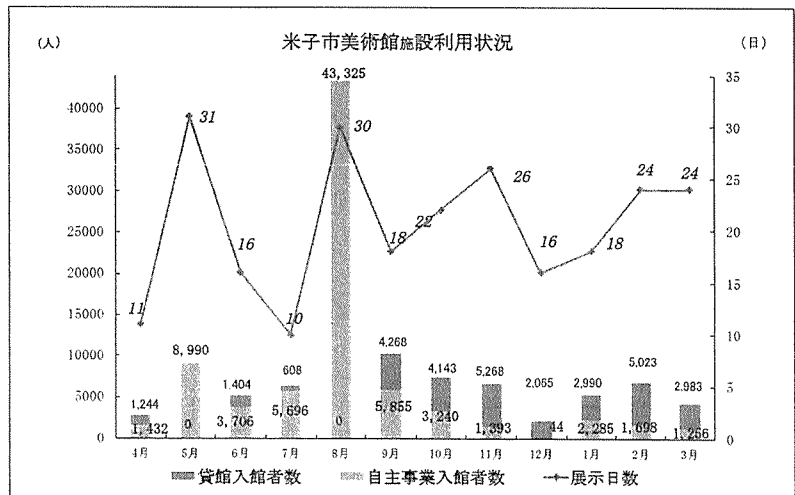
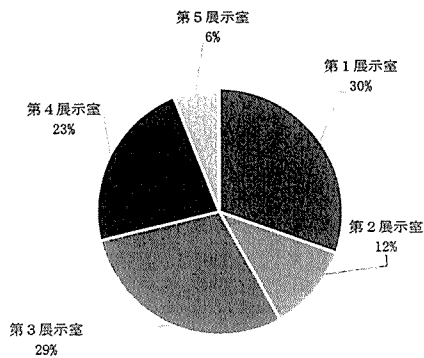
令和元年度 米子市美術館事業報告書

1 施設利用状況

室名	区別	令和元年度(a)	平成30年度(b)	増減(a)-(b)	前年比	備考
	開館日数(日)	320	314	6	101.9%	
	展示日数(日)	246	242	4	101.7%	
第1展示室	貸館件数(件)	21	18	3	116.7%	
	利用日数(日)	140	123	17	113.8%	
	利用人数(人)	16,134	15,841	293	101.8%	
第2展示室	貸館件数(件)	7	10	△3	70.0%	
	利用日数(日)	53	75	△22	70.7%	
	利用人数(人)	6,918	10,512	△3,594	65.8%	
第3展示室	貸館件数(件)	21	25	△4	84.0%	
	利用日数(日)	135	173	△38	78.0%	
	利用人数(人)	17,559	21,779	△4,220	80.6%	
第4展示室	貸館件数(件)	15	23	△8	65.2%	
	利用日数(日)	105	157	△52	66.9%	
	利用人数(人)	17,132	23,520	△6,388	72.8%	
第5展示室	貸館件数(件)	6	7	△1	85.7%	
	利用日数(日)	28	40	△12	70.0%	
	利用人数(人)	2,308	4,672	△2,364	49.4%	
使用料	展示室使用(円)	2,668,349	3,354,102	△685,753	79.6%	
雑入	図録売捌他(円)	434,949	488,150	△53,201	89.1%	
入館者数	自主事業(人)	78,920	31,583	47,337	249.9%	合計は各展示室利用の重複人数を除く
	貸館(人)	29,996	34,866	△4,870	86.0%	
	合計	108,916	66,449	42,467	163.9%	

※貸館件数は複数月にまたがる場合は、先月にカウントする。

展示室別利用状況 (利用日数割合)



2 主催事業実施状況

事業名	開催日程	入場料金 (観覧料・参加費)	内容									
			入場者数(人)	収入額(円)	支出額(円)							
			令和元年度									
			平成30年度									
<b>鑑賞事業</b>												
特別企画展  神々の微笑 - 小灘一紀 絵画のあゆみ  主催： 米子市、米子市教育委員会、 (-財)米子市文化財団 米子市美術館  米子市美術館・ 米子市立山陰歴史館連携事業	R2. 2/16 (日) ~3/15 (日)  [25日間]	観覧料： 一般500 (400) 円、 大学生以下無料  * ( ) 内は前売、 15名以上の団体、障 がいのある方 [付添1 人を含む] の料金 *本展リピーター、 米子市立山陰歴史館 企画展観覧券をお持ち の方、70歳以上の 方、米子市歴史館友 の会、Feel友の会、 鳥取県ミュージア ム・ネットワーク加 盟館のチケット・年 間パスポートなどを ご持参の方は前売料 金	会場：第2・4展示室 鳥取県境港市出身の洋画家・小灘一紀が2017年の「改組新第4回日 展」で内閣総理大臣賞を受賞したことを記念し、受賞作《伊須気余 理比売》をはじめ、油彩画79点を一堂に展示。オープニングセレモ ニーでは令和元年度鳥取県文化功労賞を受賞した大西瑞香氏が古事 記絵画にちなんで作曲されたオリジナル曲を演奏。展覧会図録 (A4 判変形/96頁) 刊行。  【関連事業】 ①作家によるオープニングギャラリートーク 2/16 (日) 参加者：176人 解説：小灘一紀氏 ②記念講演会 2/16 (日) 参加者：145人 ゲスト：小灘一紀氏、 土方明司氏 (平塚市美術館館長代理・武蔵野美術大学客員教授) 会場：米子市立図書館 多目的研修室 ③学芸員によるギャラリートーク 2/22 (土) 参加者：35人 3/7 (土) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 解説：当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子 ④未就学児と親のためのギャラリートーク 2/28 (金) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ⑤日本神話の魅力について語る会 3/1 (日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ゲスト：小灘一紀氏、宮本道代氏 (比婆山のロマンを探索する 会)、倉橋英氏 (赤穴八幡宮宮司) 会場：米子市立図書館 多目的研修室 ⑥おしゃべり鑑賞会 (認知症のかたのための鑑賞会) 3/7 (土) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ⑦人物画講座-古代衣裳のモデルを描く 3/8 (日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 講師：小灘一紀氏 対象：小学生〜一般 会場：米子市明道公民館 2階研修室  (指定管理料200,000円)	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>2,554</td> <td>2,081,702</td> <td>4,123,405</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 (金額実収)</td> <td>1,914</td> <td>919,650</td> <td>3,274,304</td> </tr> </table>	令和元年度	2,554	2,081,702	4,123,405	平成30年度 (金額実収)	1,914	919,650	3,274,304
令和元年度	2,554	2,081,702	4,123,405									
平成30年度 (金額実収)	1,914	919,650	3,274,304									
<b>展覧会事業</b>												
特別共催展 I  北原照久コレクション 懐かしくて温かい おもちゃの世界展  同時開催： 安部朱美創作人形展  主催： 米子市、米子市教育委員会、 (-財)米子市文化財団 米子市美術館、 新日本海新聞社	4/27 (土) ~6/2 (日)  会期中無休 [37日間]	観覧料： 一般1,000 (800) 円、 高校・大学生600円、 中学生以下無料  * ( ) 内は前売、 15名以上の団体、障 がいのある方 (付添1 人を含む) の料金 *70歳以上の方、高 校・大学生で15名以 上の団体や障がい のある方 [付添1人を含 む]、日本海クラブ うさみみカード会 員、Feel友の会、米 子市歴史館友の会 員の方は当日料金の 100円割引	会場：第1~4展示室 テレビ番組『開運!なんでも鑑定団』でおなじみの鑑定士で、世界 的なおもちゃのコレクターとして知られる北原照久氏のコレクショ ンのなかからブリキのおもちゃやペダルカーなど約1,000点を一堂 に展示。また、米子市在住の人形作家・安部朱美氏の「昭和の子ど も」をテーマにした創作人形等35作品を同時展示。  【関連事業】 ①オープニングギャラリートーク 4/27 (土) 参加者：78人 解説：高橋良児氏 (株式会社トイズプランニング企画室長)、 安部朱美氏 ②安部朱美氏によるギャラリートーク [※は追加開催] 5/5 (日・祝) 参加者：81人※、5/11 (土) 参加者：177人、 5/12 (日) 参加者：36人※、5/19 (日) 参加者：69人※、 5/26 (日) 参加者：44人※、6/2 (日) 参加者：91人※ *5/19 (日) を除き安部朱美氏サイン会を併催 ③北原照久氏によるギャラリートーク 5/18 (土) 参加者：226人 ④記念講演会「コレクションの愉しみ」 5/18 (土) 参加者：118人 講演：北原照久氏 (横浜ブリキのおもちゃ博物館館長) 会場：米子市立図書館 多目的研修室 ⑤安部朱美氏と学芸員によるギャラリートーク [※は追加開催] 5/25 (土) 参加者：110人、6/1 (土) 参加者：71人※ 解説：安部朱美氏、当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子、 当館主任学芸員 小川由利香 *6/1 (土) は安部朱美氏サイン会を併催 ⑥美術館・米子市立山陰歴史館連携事業ミニスタンプラリー 達成者：210人 ⑦昭和なつかし屋台村 4/27 (日) ~5/6 (月) 場所：創作・交流広場 ⑧平成から令和へ 記念撮影フォトスポット設置 4/30 (火) ~5/6 (月)	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>11,778</td> <td>1,760,423</td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 (ミニスタンプ)</td> <td>13,809</td> <td>2,428,384</td> <td>2,000,000</td> </tr> </table>	令和元年度	11,778	1,760,423	2,000,000	平成30年度 (ミニスタンプ)	13,809	2,428,384	2,000,000
令和元年度	11,778	1,760,423	2,000,000									
平成30年度 (ミニスタンプ)	13,809	2,428,384	2,000,000									

事業名	開催日程	入場料金 (観覧料・参加費)	内容			
			入場者数(人)	収入額(円)	支出額(円)	
			令和元年度 平成30年度			
<b>第59回米子市美術展覧会 (市展)</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  協力：第61回米子市音楽祭(市音)	6/21(金) ~6/29(土) 会期中無休 [9日間]	観覧料：無料	会場：第1~5展示室 6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)289点を展示。 *初日、表彰式と審査員による講評を実施  <b>【開館記念日イベント】</b> 本展開会式にてゴスペルオーブ(米子市音楽祭出演団体)による「米子市の歌」など歌唱披露 (指定管理料830,000円)			
			令和元年度	2,350	273,000	1,153,005
			平成30年度	2,746	283,000	1,075,904
<b>特別共催展 II</b>  中海テレビ放送開局30周年記念事業 Yonago ヒカリ☆マチ アートプロジェクト事業  <b>チームラボ 学ぶ!未来の遊園地</b>  主催：Yonago ヒカリ☆マチ アートプロジェクト実行委員会 [米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、 山陰酸素グループ、株式会社ジョイアーバン、 株式会社中海テレビ放送]	7/27(土) ~9/3(火)  [38日間] 19:00まで開館  8/3(土) 8/10(土) 8/23(金) 8/31(土)は 21:00まで 延長開館	観覧料： 一般 1,300(1,100)円、 中学・高校生 1,000(800)円、 小学生以下 700(500)円、 2歳以下無料  *( )内は前売 *障がいのある方 (付添1人を含む)、 10名以上の団体、 リピーター、各種相 互割引は当日料金の 100円引	会場：第1~4展示室 ウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」によるデジタルアート展。山陰初開催の本展では「お絵かき水族館」「天才ケンケンバ」「まだかみさまがいたるところにいたころのものがたり」「光のボールでオーケストラ」「小人が住まうテーブル」の計5作品を展示。米子市美術館開館以来最高入場者数を達成したことを記念し、山陰酸素グループ、株式会社ジョイアーバン、株式会社中海テレビ放送の3社から米子市へ記念寄附されたソファセットを当館に設置。  <b>【関連事業】</b> ①オープニング特別企画 缶バッジファクトリー無料 7/27(土)~8/2(金) ②山陰酸素グループによるワークショップ 「液体筆塗りで体験してみよう!-196℃の世界」 8/3(土)3回 参加者：240人 8/17(土)2回 参加者：80人 8/24(土)3回 参加者：310人 8/31(土)3回 参加者：230人 *8/17(土)のみ、米子市児童文化センターで実施 ③Yonagoヒカリ☆マチワークショップ 「こどもパソコンIchigojamを用いたプログラミング講座」 8/17(土)参加者：26人 講師：米子工業高等専門学校電子制御工学科教授他5人 会場：米子市立図書館 研修室3・4 ④Yonagoヒカリ☆マチワークショップ 「世の中で活躍しているロボットたち」 8/19(月)参加者：22人 講師：米子工業高等専門学校電子制御工学科教授他2人 会場：米子市立図書館 多目的研修室 ⑤分身ロボット「OriHime」によるサテライト展示鑑賞 8/22(木) 参加者：鳥取大学医学部附属病院小児科病棟院内学級児童34人			
			令和元年度	53,959	429,130	0
			平成30年度(大山山麓のみ)	4,480	3,538,533	20,129,469
<b>米子市障がい者アート展 KANSEI 6</b> ~障がいのある人たちが創造するカタチ~  主催：米子市 共催：米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	9/24(火) ~9/30(月) [6日間]	観覧料：無料	会場：第4展示室  市内の障がい者施設に入通所している方により制作された絵画、書道、イラストなど205点を展示。			
			令和元年度	892	-	-
			平成30年度	837	-	-
<b>第63回鳥取県美術展覧会 (県展)</b>  主催：鳥取県、鳥取県教育委員会、 新日本海新聞社 共催：倉吉博物館、米子市美術館、 日南町美術館	10/5(土)~ 10/14(月・祝) 会期中無休 [10日間]	観覧料：無料	会場：全館 8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)入選作品433点を展示。 *初日、審査員による講評とギャラリートークを開催 (指定管理料20,000円)			
			令和元年度	3,016	-	7,154
			平成30年度	3,624	-	3,040
常設(コレクション)展  <b>風景 風と光のあるところ</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	10/27(日) ~12/1(日)  [31日間]	観覧料： 一般330(270)円 *大学生以下の方、 70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び美術館後援会会員は無料 *( )内は15名以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方他割引料金	会場：第2展示室 収蔵品のなかから、植田正治《妻のいる砂丘風景(Ⅲ)》や笹鹿彪《ネオンの街》をはじめ、郷土の景観や市街地の風景などを主題にした洋画、日本画、写真、版画作品を紹介。  <b>【「文化の日」「関西文化の日」無料開放日】</b> 11/3、11/16、11/17の3日間(期間中入場者数：597人)  <b>【関連事業】</b> おしゃべり鑑賞会(認知症のかたのための鑑賞会) 11/2(土)参加者：13人  (指定管理料：1,250,000円)			
			令和元年度	1,661	71,970	935,644
			平成30年度	2,016	60,510	781,008

事業名	開催日程	入場料金 (観覧料・参加費)	内容			
			入場者数(人)	収入額(円)	支出額(円)	
			令和元年度			
			平成30年度			
AIR475 2019 / 共同企画展 秋山さやか展 米子をほどく 2009-2019  主催： 米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、 AIR475  共催：鳥取県  助成：文化庁文化芸術創造拠点形成事業、 鳥取県アートによる地域活性化促進事業 補助金	R2.1/12(日) ～2/2(日) [19日間]	観覧料：無料	会場：第1・2展示室 平成21年度特別展「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション」出品作家である美術作家・秋山さやか氏(1971年兵庫県生まれ・神奈川県在住)が約1ヶ月間米子に滞在し、出逢った人やもの、その記憶をテーマに制作した新作をはじめ6点を展示。あわせて、AIR475のこれまでの活動についてアーカイブを展示。  【関連事業】 ①ワークショップ「思い出のかげら」 12/21(土)参加者：20人 講師：秋山さやか氏 会場：ガラスクリエイトボックス ※制作した作品は12/23～28の6日間、ほんどおり商店街にて展示。 ②アーティストによるガイドトーク 1/12(日)参加者：51人、1/18(土)参加者：50人、 2/1(土)参加者：30人 解説：秋山さやか氏 ③ワークショップ「米子のかげら」 1/19(日)参加者：13人 講師：秋山さやか氏 会場：当館～近隣フィールドワーク～日本財団まちなか拠点 ④AIR475 まちあるき 1/26(日)参加者：13人 解説：AIR475メンバー  (指定管理料：600,000円)			
			令和元年度	2,685	-	500,000
			平成30年度(指定文化財費)	1,062	-	-
教育普及事業						
ミュージアムスクール (全3回)	9/29(日)	300円	第1回 創作・交流広場活用ワークショップ 「空気で大きな彫刻をつくろう！」参加者：25人 講師：藤田英樹氏(彫刻家・島根大学教育学部教授) 会場：第5展示室及び創作・交流広場			
	10/13(日)	無料	第2回「米子彫刻ロード探検ツアー」 場所：米子市文化ホール～新加茂川沿い 参加者：18人* 解説：当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子			
	R2.3/1(日)	無料	第3回 美術上映会「ブルジャンブルー 世界を巡った謎の青」 会場：第3展示室 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
				(指定管理料 163,000円)		
			令和元年度	25	-	162,166
			平成30年度	41	-	44,868
出前講座	7/20(土)	無料	「彫刻ロードの歴史を学ぼう 街歩き企画」 依頼元：米子高島屋 参加者：17人* 場所：米子市文化ホール～米子駅前～新加茂川沿い 解説：当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子			
	10/6(日)		「チャール会米子創立60周年記念祝賀会記念講演」 依頼元：チャール会米子 参加者：44人* 講師：当館副館長兼統括学芸員 青戸貴子 会場：ANAクラウンプラザホテル米子			
	10/26(土)		「まちなかを巡るモニターツアー(野外彫刻解説)」 依頼元：米子市都市創造課 参加者：11人* 解説：当館主幹兼統括学芸員 喜多村聡史 場所：米子市文化ホール～新加茂川橋周辺			
土曜講座 (常設展展示解説)	常設展会期中 の指定土曜日 11/16(土)	常設展観覧料に含む	参加者：32人 解説：当館主任学芸員 小川由利香			
米子市文化財団・米子高専連携事業 夏休みこども体験教室 (Vonagoヒワリマチアートプロジェクト事業)	8/9(金)	無料	工作教室「リサイクル工作でランプを作ろう！」 参加者：15人* 講師：上田輝美氏(米子工業高等専門学校教育支援センター技術職員) 会場：米子市淀江文化センター			
			科学教室「光の不思議と-196℃の世界の科学を体験しよう！」 参加者：29人* 講師：谷藤尚貴氏(米子工業高等専門学校物質工学科准教授) 会場：米子市淀江文化センター			

事業名	開催日程	入場料金 (観覧料・参加費)	内容		
			入場者数(人)	収入額(円)	支出額(円)
			令和元年度		
			平成30年度		
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団 フェスティバル	10/5(土)	無料 (ブースにより有料)	会場：米子城跡三の丸広場（米子市宮湊山球場） 米子市文化財団の9施設が集まり、1日限定の昔遊び、弓矢体験など ワークショップを開催。美術館ブースでは「くつつき“エコアート”に大挑戦！」を実施、226人参加。（米子城フェスタ同時開催）  参加者：2,037人* (指定管理料 40,000円)		
		令和元年度	-	-	22,312
		平成30年度	-	-	21,106
博物館実習受入	随時	-	2人受入（尾道市立大学1人、関西学院大学1人）		
職場体験学習受入		-	4人受入（後藤ヶ丘中学校2人、鳥取大学1人、福米中学校1人）		
基礎体験活動受入	通年	-	5人受入（島根大学1000時間体験学修）		
モニター制度		-	展覧会観覧後、モニターレポートを提出、 モニター会議実施（第7期1年目・3人登録）		
サポーター制度		-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等21回活動 （第7期1年目・9人登録）		
ミュージアムスタンプラリー		-	達成者に記念品贈呈		
アンケート		-	来場者に受付配布し、全主催事業で実施		
ホームページによる情報提供		-	展覧会情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新		
資料収集事業					
収蔵品基本台帳作成 郷土関係作家資料、 次年度資料収集 「収蔵品管理システム」活用	通年	-	収蔵関係作家調査、地元作家関係調査		
		-	特別企画展、特別共催展等実施に向けた調査  (指定管理料119,000円)		
		令和元年度	-	-	239,017
		平成30年度	-	-	148,416
収蔵品の修理・修復	-	-	刀剣手入（2回） 足立正太郎他写真作品10点ブックマット装  (指定管理料 38,000円)		
		令和元年度	-	-	151,845
		平成30年度	-	-	58,392
収蔵品の貸出等	随時	-	「生誕120年 芸術写真の神様 塩谷定好とその時代」 (鳥取県立博物館)へ 足立正太郎《手》ほか計26点貸出		
		-	「最古の日本刀の世界 安綱・古伯善展」(春日大社)へ 寄託作品《太刀 銘 安綱》ほか計3点貸出		
		-	「異才 辻菅堂の陶彫」(愛知県陶磁美術館他2館)へ 辻菅堂《犬》ほか計4点貸出		
		-	特別観覧1件 写真作品調査のため		
		-	画像貸出5件(36点)		
収蔵品状況	-	-	洋画193点、日本画89点、素描294点、彫刻31点、書10点、 版画313点、写真838点、工芸1点、資料70点 合計1,839点		
その他事業					
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売		
令和元年度 合計			78,920	4,616,225	9,294,548

※収支差額がマイナスとなる事業については、積立金取崩金・指定管理料より充当。  
※入場者数合計については、館外で実施した事業（\*）や重複しているものは除く。

### 3 特記事項

#### (1) 施設管理の充実

- ・汚損の著しかった展示室のクロスと巾木の部分貼り替えを実施した。
- ・平成25年度改修時に未着手であった女子和式トイレの移設工事を実施した。
- ・特に来場者の多い展覧会について巡回清掃の時間を2倍に増やし、清潔な展示環境の維持に努めた。
- ・玄関前の樹木剪定を行い、美観の維持に努めた。

#### (2) 利用者サービスの向上

- ・会期中に改元のあった特別共催展Ⅰ「北原照久コレクション/安部朱美創作人形展」は、明治～昭和までのおもちゃや広告を回顧する内容と、山陰歴史館での連携展示、記念フォトスポットの設置など、時宜を得た関連イベントと組み合わせて実施、来館者のニーズに応えた。
- ・特別共催展Ⅱ「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」では全会期を通じて夜間延長開館を実施。SNS上で映える体験型のデジタルアートは美術に馴染みのない層を多く呼び込み、米子市美術館歴代最高入場者を達成した。アンケート上では20～40代が来場者の半分を占め、新たな来館者層の開拓にもつながった。
- ・常設（コレクション）展において、認知症のかたに対応した新規の鑑賞プログラム「おしゃべり鑑賞会」を実施。また会期中、文化の日及び関西文化の日の計3日間を無料開放日に設定し、鑑賞機会の拡大に努めた。
- ・昨年に引き続き、郷土出身作家を顕彰する特別企画展（「神々の微笑 -小灘一紀 絵画のあゆみ」）を実施。関連事業として作家による記念講演会やギャラリートークを開催し、来場者増に努めた。図録についてはほぼ完売となった。
- ・市内保育園、幼稚園、小中学校等に団体鑑賞を呼びかけ、教育目的利用の促進を図った。
- ・市内の野外彫刻作品について「広報よなご」に紹介記事を寄稿した。
- ・主催展示の入口に多言語表記を一部導入し、アクセシビリティの向上に努めた。

#### (3) 貸館利用者へのサービス向上

- ・希望団体の事前申請により、開館時間外の延長利用（夜間開館、開会式、搬入出作業）に対応した。
- ・貸館展示主催者との打ち合わせを徹底し、展示プランへのアドバイスをを行った。

#### (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止によるキャンセル状況（令和2年2～3月）

- ・第1展示室／1件／37,680円

1 施設名 米子市美術館

2 事業概要

(1) 芸術文化の鑑賞機会の提供

- ・特別企画展「神々の微笑 - 小灘一紀 絵画のあゆみ」
- ・特別共催展 I  
「北原照久コレクション 懐かしくて温かいおもちゃの世界展/同時開催：安部朱美創作人形展」
- ・特別共催展 II 「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」
- ・共催展「米子市障がい者アート展 KANSEI 6」
- ・AIR475 2019/共同企画展「秋山さやか展 米子をほどく 2009-2019」
- ・常設（コレクション）展「風景 風と光のあるところ」

(2) 美術資料の収集・保管・調査研究

- ・情報資料収集・調査
- ・収蔵品の保管・貸出
- ・収蔵品の修理・修復
- ・展覧会図録等の刊行（「神々の微笑 - 小灘一紀 絵画のあゆみ」）
- ・米子市内彫刻作品の紹介連載

(3) 収蔵作品・資料データベース化

(4) 収蔵図書資料のデータベース化

(5) 生涯学習活動とコミュニティ活動の支援

- ・展覧会関連講演会、ギャラリートーク及びワークショップ  
※2月28日以降の展覧会関連事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・ミュージアムスクール（3回）  
「創作・交流広場活用ワークショップ 空気で大きな彫刻をつくろう！」  
「米子彫刻ロード探検ツアー」  
「美術上映会」※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・土曜講座（常設展展示解説／1回）
- ・出前講座（3回）
- ・米子市文化財団・米子高専連携事業「夏休みこども体験教室」
- ・米子市文化財団連携事業「米子市文化財団フェスティバル」
- ・職場体験学習等受入
- ・モニター制度
- ・サポーター制度

(6) 市民の発表の場の提供

- ・第59回 米子市美術展覧会（市展）
- ・第63回 鳥取県美術展覧会（県展）
- ・米子市秋の文化祭への協力
- ・展覧会チケット販売

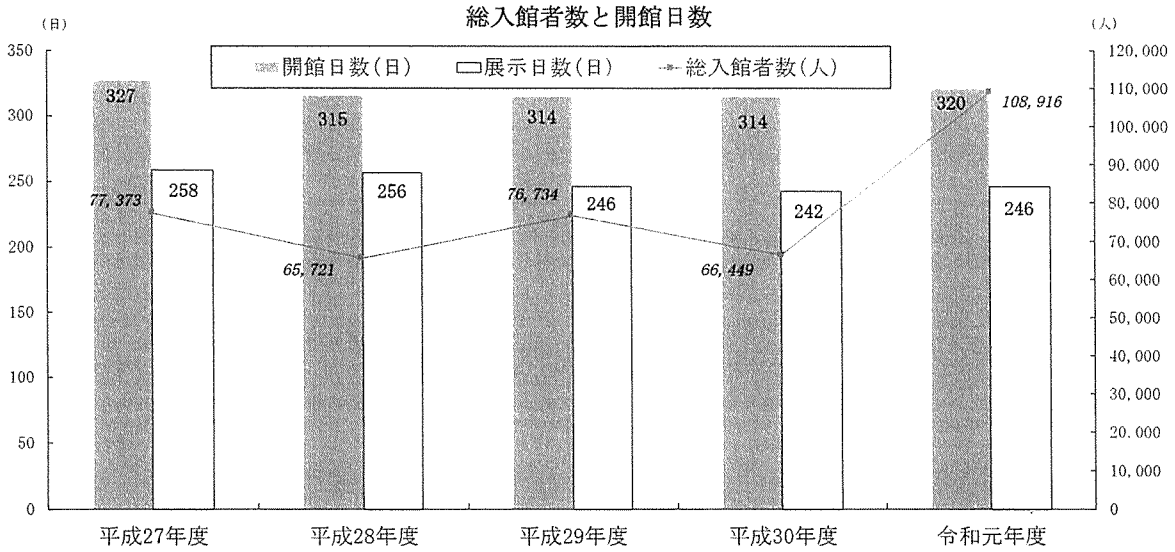
3 施設における課題や問題点とその対応

- ・ピクチャーハンガーや展示ケースなど展示備品の経年劣化に伴う更新
- ・過去の改修工事未対応箇所の修繕について米子市と継続協議

平成27～令和元年度 米子市美術館運営状況

1 総入館者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数(人)	77,373	65,721	76,734	66,449	108,916
開館(日)	327	315	314	314	320
展示(日)	258	256	246	242	246



2 収入状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
使用料	3,540,176	3,770,544	3,560,055	3,354,102	2,668,349
観覧料他	5,807,623	3,647,031	4,927,901	7,264,307	4,616,225
雑収入	322,873	334,119	244,575	488,150	434,949
助成金	0	949,000	500,000	0	0
合計	9,670,672	8,700,694	9,232,531	11,106,559	7,719,523

